

月刊 やちまなこ

2017.11.15 発行

No.240

11月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

季節風が落ち葉を舞い上げる空には、まるで綿を丸めたような雲が次々と流れて行く。陽射しを受けた湿原を覆うヨシ原はサラサラと音を立てながら、大きく蛇行するように揺れている。近くにある湖も普段は越冬のため渡って来たヒシクイやオオハクチョウなどの水鳥たちでにぎわう様子が見られるが、今日は湖面を埋めるように白波が立ち、彼らも何処かへ身を隠しているのかも知れない、時折しぶきが顔に当たる初冬の湿原、人影も消えて一人佇む景色の中を風が叫び、笑い、鳴くように様々な音を耳に残しながら去って行く。



塘路フィールドノート【10/15～11/14】

【野鳥】

塘路湖がカモの仲間で賑わってきました。西岸近くではカワアイサが大きな群れを作り、センターの沖合を飛び交もよく見られます。カモ類のほかにもカウウ、ユリカモメ、カイツブリの仲間など多くの水鳥が見られます



カワアイサ♀ (塘路湖)

塘路湖では最も数が多いカモの仲間。センターの沖合を群れで飛んでいきました



ミコアイサ♀ (塘路湖)

パンダガモのオスに比べて地味なメス。メスだけ数羽でいるところをよく見かけます



ホオジロガモ♂ (塘路湖)

センター近くでよく見かけます。オスが2～3羽ほどで行動していることが多いです



ダイサギ (塘路湖畔)

普段は単独でいることが多いですが、この時は4羽で上空を通過していきました



カウウ (塘路湖)

今年は飛来数が多く、対岸に数十羽ほどで群れているのをよく見かけます



ユリカモメ (塘路湖)

獲物を狙ってダイビングしたところ。しかし残念、獲物は取り逃したようです…



オジロワシ (塘路湖畔)

周辺で繁殖している個体と思われます。獲物を探しながら上空を旋回していました



ミサゴ (塘路湖畔)

オジロワシを探していたところに運よく遭遇。ちょうど真上を通過してくれました



オオハクチョウ (シラルトロ湖)

夕暮れの湖上を飛んでいた小群。背景の紅葉との色の対比が際立っていました

【植物】

紅葉の季節を彩った樹々はすっかり葉を落とし、わずかに残った植物の果実はスズメやヒヨドリなどの鳥たちがせせとついでいます。鮮やかな色彩は影を潜め、塘路湖畔には冬枯れの光景が広がっています



カラマツ (塘路湖畔)

紅葉・黄葉のトリを飾る樹木。塘路湖畔では10月の下旬頃ピークを迎えました



ツルウメモドキ (シラルトロ湖畔)

紅葉の季節が終わり、彩りが寂しくなる晩秋、鮮やかな赤色が一際目を引きまます



フッキソウ (フィトンチッドの森)

翌春に備えてつぼみを付けていました。この状態で冬を越し、5月ごろに開花します

❁ 晩秋のキク科の花々



ミヤマアキノキリンソウ (シラルトロ湖畔)



ヤマハハコ (シラルトロ湖畔)



ヨブスマソウ (塘路湖畔)

■ 晩秋の湿原 野鳥観察会を開催しました (参加者 11名)



10月29日(日)、釧路市こども遊学館の角田真穂さんを講師に迎え、シラルトロ湖・蝶の森で野鳥観察を行いました。渡りの季節ということもあり、ヒシクイやオオハクチョウをはじめとした水鳥を多く観察できることを期待していましたが、天候が今一つだったこともあり、カモ類が数種確認できたけどやや残念な結果に…。気を取り直して蝶の森へ向かったところ、雨が強くなってきたため、森に入ったところで引き返し、シラルトロ自然情報館周辺で観察を行いました。その後、さらに雨が強くなり、天候の回復が見込めなかったため、早めに切り上げて、自然情報館で鳥合わせを行いました。悪天候で早めの切り上げとなった事が影響し、観察できたのは13種とやや少なめでした。

■ムックリ作りを体験しました



講師の小岩さんによる音の出し方の実演

4日、自然ふれあい行事「ムックリ（口琴）を作ろう」を開催しました。ムックリはアイヌの人たちが使っていた楽器で、当日は小岩佐和子さんを講師に、竹材を彫刻刀で削りながら作りしました。振動する部分が2ミリくらいの厚さになったら刃先を慎重に進め、調整するよう説明がありました。

手の甲で材料を叩いて振動音を確認しながら調整したあと、手に持つ部分と振動する部分に紐を通して完成。始めは紐を引っ張り振動させてもなかなか音が出ないようでしたが、講師から引っ張る紐の角度や力加減を教わると、参加者の中から突然独特な音色が聞こえてきました。行事の終盤に「練習を重ねると音は出ます」と講師からアドバイスがありました。

12月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎クリスマスリースを作ろう

[日 時] 12月9日(土) 13時～15時

[定 員・参加料] 10名 500円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎バートカービング初心者講座

第4回(全5回)

[日 時] 12月10日(日) 11時～15時

[定 員・参加料] 前回参加者の方

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

◎冬の植物を見に行こう

[日 時] 12月3日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

◆日出・日入時間 10/15(5:35,16:40).10/31(5:55,16:16).11/14(6:13,16:00)

～編集後記～

■朝の気温も氷点下となり、水溜りでは氷が張る頃となりました。エコミュージアムセンター近くにある塘路湖畔歩道の木もすっかり葉が落ちて、湖で羽を休める水鳥が観察できます。運が良ければ!?カワセミやオジロワシ(オオワシも)の姿も見られるようです。その際には防寒対策も十分に。双眼鏡も無料貸出ししていますので観察のお供に。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料